

月刊 やちまなこ

2012.10.15 発行

No. 179

10月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



残暑が続いた釧路湿原も10月に入り、徐々に色づき始めてきた。木々の紅葉は例年より遅れているようで、中には落葉している木もある。

水霜の輝く林ではエゾリスが葉の下に隠れているオニグルミを探していて、しばらくするとその音に誘われるようにミヤマカケスが現れ、ドングリを食べていた。ヒシクイの鳴き声が聞こえる湖にオオハクチョウの姿が見られる頃には釧路湿原も晩秋の装いとなるようだ。

コッタロ川と湿原のほとりから

148 10月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“一塊の雲あり いよよ天高し 虚子”のコッタロは日暮れが早くなりました。あれほど賑わっていた虫達もすっかり鳴りをひそめ、落ち葉のセレナーデがそこはかたなく心に沁み入るこの頃です。

季節はずれの猛暑の残り香が尾を引いて晩秋と云えども大地は尚青々として活気づき、10月8日の初霜もなんのその、種採りの終わったコスモス園で咲き続ける小ぶりの花の下には未だまだ小粒の蕾すらたくわえていて、舞降りる丹頂等をひき立たせているではありませんか。

さて、この暖かさがもたらす恩恵は野山のクルミや団栗ばかりでなく、収穫期を迎えた我家の畑にも現れ、まっ赤に色付いた鬼灯、完熟カボチャがゴロゴロ。又、庭のヒマワリに殊の外実が入っており、ぎっちり詰まった中を口バシで突っついているのは常連の赤ゲラ。ようやく一粒を取り出しては近くの枯木に裂け目を見つけて一旦そこに種を刺しておき、割って食べる非効率さ。これとは反対に皮むきはお手のもののシメは、一度に7～8ケの皮をむいてほおばる素早さ。たゆまぬ学習意欲に目を見張り乍らも自然はかくも面白く不思議に出来ているものですネ。

ところで早くも10月1日からエゾ鹿獺が解禁となって10日目の今、日中は殆んど姿を見せない彼等も夜な夜な家の周囲に現れて、池で眠る親子ヅルの安眠を妨げております。その声に起こされ見ればベルベットムーンに映し出された純白の丹頂等は水の中から“あっちへ行ってくれ！！”と鹿等を叱りつけている所でした。

珍奇な現象は今季ウグイスにも見られて、庭木の下枝に止まって“チャッ！チャッ！”と地鳴きしている姿を撮ることが出来たのは全くの幸運と云えましょう。

“空気はどうまいものはなし豊の秋 なりたせんくう”を、いましばらく味わいたいものです。



湿原の住人たち その139

ツノアオカメムシ

背面が光沢のある緑色で名前に「ツノ」が付くツノアオカメムシは、江戸時代の武士の正装・袴の肩衣のようないかり肩が目印です。彼等はハルニレやミズナラ、カエデなどの樹上で生活していますが、これらの木が周辺に多いせいか、写真のように、あるこっこの外壁を歩く姿が9月頃見られます。樹液がでない外壁を大胆かつ慎重に移動する姿に見入ってしまうのは、体色の絶妙な色合いのせいかもしれません。カメムシ=くさい匂いを出すイメージの人が多いかもかもしれませんが、カメムシ目に属する仲間にはセミやアブラムシ、アメンボなども含まれ、カメムシといっても本当に姿・形はさまざまです。



塘路湖畔の紅葉

例年、塘路周辺の紅葉の見頃は20日前後ですが、今年は15日現在写真右の状態です。ヤチダモの葉が黄葉のまま残り、イタヤカエデの葉は緑のまま。秋は瞬く間に駆け抜けて行くのでしょうか？



2011.10.16



2012.10.15

ネムネムのとうろうろう日記 Vol.39 「防虫剤のかほり」

郷土館にいらっしゃるお客さんの中で、野外で調査をする『生き物屋さん』は見ればけっこうわかります。老若男女、長靴だったり、フリースだったり、山道具メーカーのカップを上着代わりに着ていたり。あとは香りも重要なポイントで、まず化粧品の類ではない、同業である私にはどこか落ち着く香りがします。以前、外国のお客さんでしたが、虫の専門家であることを見抜いたところ、「どうしてわかった？」と聞かれたので、「匂いがしたよ。」と答えたら、「(昆虫標本の)ナフタレンの匂いでもしたか？」と笑っていました。

さて、最近は標本の防虫作業をしています。防虫剤やらくん蒸剤やらで、なかなかかぐわしい仕事です。髪にも服にも喉にも防虫剤の匂いが移り、お風呂に入って着替えても、何かの瞬間にどこからか香ります。「これで(私にも)悪い虫すら寄り付かないね！」と私が笑うと、「ただでさえアンタは賞味期限切れかけているのに！」と実家の母が嘆きます。それを聞いた友達が「大丈夫よ。虫って『腐りかけ』のほうがよく集まるから。」それって、フォローになってないような・・・。

辻 ねむ (標茶町郷土館学芸員)

9がつ 29にち

ばしょ とうろ



ガラスケースも棚も全部空っぽにしてバルサンを焚く。標本ってこんなにあっただと驚きます。

10・11月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

バードカーピング講座 1回目(全5回)

【日時】10/21(日) 11:00~15:00
【定員・参加料】15名、初回の方は4,000円
【場所】塘路湖EMCレクチャールーム
【持ち物】筆記具、定規、エプロン、昼食

ムックリを作ろう

【日時】11/10(土) 13:00~15:00
【定員・参加料】15名、300円
【場所】塘路湖EMCレクチャールーム

問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで 015-487-3003

秋の湿原ハイク

【日時】10/21(日) 10:00~12:00

自然からの贈り物でいろいろ工作

【日時】11/11(日) 13:00~15:00

申し込み 問い合わせは 温根内ビジターセンターまで 0154-65-2323

塘路湖・シラルト湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(9/18)サワギキョウの実・ウメバチソウ (9/21)ヤクシソウ・ミヤマヤブタバコ・センボンヤリ閉鎖花・ナギナタコウジュ・アキノキリンソウ・エゾトリカブト・クルマバナ・ホオノキの実・イヌエンジュの実・ハナタデ (9/23)ネバリノギク (9/28)ヤマブドウの実・エゾオオヤマハコベ (10/3)ホザキシモツケ・ヒヨドリバナ・カンボクの赤い実 (10/8)ツリバナ・マユミ・ツルウメモドキ・サルナシの実 (10/13)キツリフネ・エゾヤマハギ

【鳥】(9/21)コゲラ・マガモ・アオサギ・ヒシクイ (9/22)オジロワシ・タンチョウ・ヒドリガモ (9/23)アオジ (9/28)ハクセキレイ (9/30)キセキレイ・ヤマゲラ (10/5)ダイサギ (10/9)ミコアイサ

【その他】(9/21)ムツアカネ・マユタテアカネ・イイジマルリボシヤンマ (9/23)エゾシマリス・ヒメアカタテハ・クジャクチョウ・モンキチョウ (9/25)アキアカネ (10/1)エゾシカ猟解禁 (10/1~2)台風17号通過後、道道クチョロ原野塘路線、道路冠水のため通行止め (10/9)標茶の今季最低気温氷点下0.5度を記録 (10/13)冬毛のエゾシカ (10/14)キトンボ・エルタテハ

「第18回タンチョウイラスト展」巡回展開催中

10月20日まで、レクチャールームに於いて釧路根室管内の小中学生が描いたタンチョウのイラストを展示しています。タンチョウの魅力が伝わる素晴らしい作品をぜひ見に来てください。

日出・日入時間 10/15(5:36,16:40)・10/31(5:55,16:16)・11/14(6:13,16:00)



コクワ(サルナシ)の実(塘路市街10/8)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00~17:00(11月~3月は16:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日 入館無料